

学 校 関 係 者 評 価 報 告 書

愛媛県立松山工業高等学校

学校番号 24

評 価 実 施 日	令和3年2月19日(金)		
委 員	氏 名	所 属 等	備 考
	菊池 伸英	同窓会会長	学校関係者評価委員会 書面開催
	大北 謙治	同窓会顧問	学校関係者評価委員会 書面開催
	正鑄 真一	P T A会長	学校関係者評価委員会 書面開催
	日野 繁	学校関係者評価委員(株式会社 和泉モータース 取締役)	学校関係者評価委員会 書面開催
	清水 達郎	学校関係者評価委員(株式会社 伊予鉄グループ 人事課長)	学校関係者評価委員会 書面開催

評 価 ・ 提 言 等	提言等に対する改善方策等																
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学習指導 松山工業高校の生徒は、技術面や礼儀作法などが良好である。就職をすると語学力も必要になってくるが、英検の受検状況やその合否はどうか。(全日制)</p> <p>(2) 生徒指導 交通事情が大変厳しい松山市において、交通安全指導は苦慮している学校が多いと思う。松工ならではの交通安全指導の取組はあるのだろうか。(全日制・定時制)</p> <p>(3) 進路指導 松山工業高校は、就職はもちろん進学もできる学校として、進学面で、目標に達していないという。今年は国立大学進学予定者が10名以上を達したが、来年度以降もそれが続く位の希望者がいるのだろうか。(全日制)</p> <p>コロナ感染症関係により、来年度も求人数が減少傾向にあると考えられる。その対策は、どのように考えているのか。(全日制・定時制)</p>	<p>・下記の表が英検の受検状況である。主に進学希望者が受検しているので、一般生徒への声掛け等も行い、受検者数を増やしたい。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>2020年度</th> <th>2級</th> <th>準2級</th> <th>3級</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>3/11</td> <td>12/27</td> <td>4/5</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>1/6</td> <td>5/13</td> <td>6/10</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>2/12</td> <td>25/60</td> <td>33/48</td> </tr> </tbody> </table> <p>(合格者数)/(受検者数)</p> <p>・毎朝の登校指導におけるヘルメットのあご紐の緩み等の安全確認指導を行う。また、交通安全だより、交通安全に関する緊急情報・最新情報をClassiで生徒・保護者に適時配信する。さらに全日制では、近隣校(松山南高校・聖カタリナ高校)と合同で行う市駅南地区マナーアップクラブ交通サミットの活動の充実に努めたい。</p> <p>・現在のところ、来年度の国公立大学進学希望者数は14名であり、今年度(18名)より少なくなっている。また、進学希望者自体も95名と今年度の113名より少なくなっている。まず進学補習等を通して国公立大学進学に対する意識の高揚に努めたい。また、就職希望の生徒個人の諸事情を考慮しつつ、課題研究の熱心な生徒や更に専門的な研究を必要としている生徒には、進学する意義を個別指導していく。</p> <p>・今年度の全日制的就職試験不合格者は185人中12名[6.5%](2度目の就職試験には全員合格)と多くなっている(昨年度は206人中3名[1.5%])。不合格の理由で指摘されたことは、競争倍率が3倍以上であったことや面接でのコミュニケーション能力の低さである。生徒の希望と企業が求める人材がミスマッチを起こさないように、企業との情報交換を密にして、生徒の能力に合う進路指導を行っていきたい。なお、定時制の就職試験不合格者はなしである。</p>	2020年度	2級	準2級	3級	第1回	3/11	12/27	4/5	第2回	1/6	5/13	6/10	第3回	2/12	25/60	33/48
2020年度	2級	準2級	3級														
第1回	3/11	12/27	4/5														
第2回	1/6	5/13	6/10														
第3回	2/12	25/60	33/48														

<p>(4) 特別活動</p> <p>積極的な部活動を通して、人間関係の作り方や人間力が磨かれ、将来の社会人のための準備ができる。しかし、コロナ感染問題により、部活動の雰囲気、参加率や活動状況はどうなっているか。(全日制)</p>	<p>・今年度は新型コロナウイルス感染症拡散予防のため、県総体をはじめ各種公式大会が中止になったが、代替大会で3年生の高校生活最後の活躍の場は確保できたようだ。しかし、まだ感染拡大状況は厳しく、対外試合・県外遠征等の自粛の方針が取られ、十分な活動が行われていないのが現状である。そこで各部では、時間をかけた丁寧な指導を通して、チームとしての質と技術力の向上に努め、生徒間で刺激し合える場面の設定やその雰囲気作り等に工夫を凝らしている。一例として、</p> <p>①練習環境を変える (練習場所を学校以外の公共施設を利用する)</p> <p>②トレーニング方法を改善する (個人のスキルを上げる)</p> <p>③メンタル面強化 (逆境に耐えられる、打ち破れる)</p> <p>に留意した指導内容への変革に積極的に努め、効果を上げてきている。また、自粛緩和後に充実した活動・成果を上げるために、心身ともに成長した生徒の育成に各部で努めている。</p>
<p>(5) 工業指導</p> <p>今年から共通テストが開始され、ますます基礎学力定着が望まれてくる。工業科目の源である数学の本校での学習成果はどういう状態であるのか。(全日制)</p>	<p>・まだ数学Ⅰではあるが、本年度の共通テストを1年生進学補習で活用してみた。生徒たちは理解する力を十分持っており、時間制限がなければ解ける基礎学力を有している。機会をみて、数学Ⅱ・Bでも試してみたい。</p>
<p>(6) 人権・同和教育</p> <p>松工人権宣言は、生徒自ら人権感覚を再確認することのできる内容である。その確認をホームルーム活動以外で効果的に行う方法はあるのだろうか。(全日制・定時制)</p>	<p>・全校朝礼、教科指導(主に、地理歴史・公民科)、人権委員学習会においても啓発活動を実施している。来年度も継続し、指導に努めたい。</p>
<p>(7) 環境整備</p> <p>適切である(全日制・定時制)</p>	
<p>2 重点目標について</p> <p>コロナ感染拡大防止等により、変えざる目標はあると思う。(全日制・定時制)</p>	<p>・本年度の数値目標の達成度を確認し、来年度の目標を実質的に達成できるものに改める予定である。</p>
<p>3 説明・公表について</p> <p>学校関係者評価委員会の資料を事前に送付できていることがよい。各課の説明も丁寧である。(全日制・定時制)</p>	<p>・本年度も、学校評価委員の方々には、本校の具体的目標への取組を1年間通して評価していただくため、自己評価表(計画)を4月に確認していただいた。体験入学、松工オープンスクール、授業参観週間等の実施が厳しい中、保護者・中学生には、松山工業高校の素晴らしさと正しい情報をお知らせするためにも、ホームページの更なる充実を図る。</p>
<p>4 学校運営への提言</p> <p>自己評価表の「評価」は控え目だが、この不安な社会情勢の中、例年以上に努力していると思われる。今後も、企業や地域と協働しながら、将来の実践的な技術者を養成していく学校運営をしてほしい。(全日制・定時制)</p>	<p>・本校は、卒業生や地元の企業、地域の皆様の支えの元で教育活動が充実している。その継続を通して、将来、一流の仕事ができる技術者の育成サポートに尽力していく。</p>